

ONS 15454 での TCC2 Plus の拡張されたセキュリティ機能と設定ルール

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[セキュリティ拡張](#)

[下位互換性](#)

[プロセッサ 設定ルール](#)

[ONS 15454 SONET システムのためのソフトウェアおよびプロセッサ アップグレード パス](#)

[ONS 15454 SDH システムのためのソフトウェアおよびプロセッサ アップグレード パス](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Timing, Communications, and Control Card, version Two Plus (TCC2P) および Timing, Communications, and Control Card version Two (TCC2) の拡張されたセキュリティ機能を比較しています。

TCC2P は、Cisco ONS 15454 マルチサービス プロビジョニング プラットフォーム (MSPP) の次世代のシステム プロセッサです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ONS 15454

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ONS 15454

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく


必要があります。


表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

セキュリティ拡張

Cisco TCC2P は追加のセキュリティ機能拡張を提供します。機能拡張は設定することを可能にします:

- フロントパネルイーサネットインターフェイス ( の矢印 B を [1](#)) 参照して下さい。
- 後部または先頭マウント電気接続 (rear/FMEC) イーサネットインターフェイス。

再生器でインターフェイスを設定できます ( の矢印 A を [1](#)) 参照して下さい。また、個々の IP の rear/FMEC イーサネットインターフェイスおよび分離された技術および Data Communications Channel (DCC) アクセスのための MAC アドレスを提供できます。ANSI シャーシのワイヤラップピンで終わる後部イーサネットインターフェイスは LAN ポートおよび ETSI シャーシの FMEC LAN ポートです。

先頭および rear/FMEC インターフェイスのための異なる動作を設定できます:

- **セキュアモード (依存しない)** —セキュアモードでは、2 つ MAC および IP アドレスがあるので、先頭および rear/FMEC ポートは独自に機能します。この動作は前部イーサネットポートと WAN に一般的に接続される rear/FMEC イーサネットポート間のアクセスのレベルを選択することを可能にします。
- **リピータモード (標準オペレーション)** —リピータモードは単一 MAC および IP アドレスが理由でリピータとして、機能することを先頭および rear/FMEC ポートが可能にします。前部イーサネットインターフェイスは rear/FMEC インターフェイスにアクセスできます。

先頭および rear/FMEC インターフェイスを設定できる異なるポート状態のリストはここにありません:

- 前部インターフェイスだけイネーブルに設定するか、またはディセーブルにすることができます。
- rear/FMEC インターフェイスだけイネーブルに設定するか、またはディセーブルにすることができます。
- 両方、先頭、rear/FMEC イーサネットインターフェイスをイネーブルに設定しか、またはディセーブルにしことができます。

図 1-カードと ONS 15454 TCC2

下位互換性

TCC2P に ONS 15454 バージョン 4.0.0 に下位互換性があります。TCC2P の機能性は TCC2 のそれと同等です。拡張セキュリティ機能のためのサポートがほしいと思う場合、ONS 15454 バージョン 5 またはそれ以降を使用して下さい。

TCC2P は TCC2 と相互運用できます。同じネットワークは TCC2 を操作するノードおよび TCC2P を操作するノードが含まれている場合があります。同じノードはまた TCC2P に両方の TCC2 と動作できます。

プロセッサ 設定ルール

ONS 15454 バージョン 4.0.x および それ 以降 サポート TCC2P。 次の点に留意してください。

- TCC2P は 4.7.x によって ONS 15454 バージョン 4.0.x のための TCC2 機能セットと動作します。
- TCC2P は ONS 15454 バージョン 5.0 および それ 以降のために設定 される 進んだ機能をサポートします。

TCC2P はすべての相互接続 カード、入出力 カードおよびシェルフ アセンブリ バージョンと互換性があります。 プロセッサ アップグレードに関しては、適切な遷移ソフトウェア ロードを使用して下さい。

追加機能を必要としなければ TCC2P に TCC2 カードをアップグレードする必要はありません。

ONS 15454 SONET システムのためのソフトウェアおよびプロセッサ アップグレードパス

ONS 15454 に直接 ONS 15454 SONET のためのバージョン 5.0.x をアップグレードできることを [表 1](#) は示したものです:

- TCC+ と R4.0.x が 4.1.x を使用します。
- TCC2 が TCC2P と R4.0.x、R4.1.x、R4.5.x、R4.6.x または R4.7.x を使用します。

、ここにプロセッサ アップグレード パスは [表 1](#) に基づいています:

- TCC から TCC2 が TCC2P へアップグレードできます。 ただし ONS 15454 にバージョン 4.0.x または 4.1.x をアップグレードする前に、ONS 15454 バージョン 2.2.2 (TCC+) に最初に移行して下さい (TCC2 が TCC2P) 。
- ONS 15454 バージョン 4.0.x または 4.1.x を使用するとき TCC+ から TCC2 が TCC2P へアップグレードできます。
- ONS 15454 バージョン 4.0.x、4.1.x、4.6.x、4.7.x、または 5.0.x を使用するとき TCC2 から TCC2P へアップグレードできます。

表 1 – ONS 15454 SONET のためのソフトウェアおよびプロセッサ アップグレードパス

	TCC	TCC+	TCC2	TCC2P
R1.0.x	X	-	-	-
R2.0.x	X	-	-	-
R2.1.x	X	-	-	-
R2.2.x	X	X	-	-
R2.3.x	X	X	-	-
R3.0.x	-	X	-	-
R3.1.x	-	X	-	-

R3.2.x	-	X	-	-
R3.3.x	-	X	-	-
R3.4.x	-	X	-	-
R4.0.x	-	X	X	X
R4.1.x	-	X	X	X
R4.5.x	-	-	X	X
R4.6.x	-	-	X	X
R4.7.x	-	-	X	X
R5.0.x	-	-	X	X

ONS 15454 SDH システムのためのソフトウェアおよびプロセッサ アップグレードパス

TCC2 の ONS 15454 バージョン 4.0.x、4.1.x、4.5.x、4.6.x、または 4.7.x から ONS 15454 に直接 ONS 15454 SDH のためのバージョン 5.0.x をアップグレードできることを表 2 は示したものです。

、ここにプロセッサ アップグレード パスは表 2 に基づいています:

- ONS 15454 バージョン 3.3.x または 3.4.x を使用するとき、TCC-I から TCC2 か TCC2P へアップグレードできます。ただし ONS 15454 にバージョン 4.0.x または それ以降をアップグレードする前に、ONS 15454 バージョン 4.0.x (TCC2) に最初に移行して下さい (TCC2 か TCC2P)。
- ONS 15454 バージョン 4.0.x を使用するとき TCC-I から TCC2 か TCC2P へアップグレードできます。
- ONS 15454 バージョン 4.0.x、4.1.x、4.6.x および 5.0.x を使用するとき TCC2 から TCC2P へアップグレードできます。

表 2 – ONS 15454 SDH のためのソフトウェアおよびプロセッサ アップグレードパス

	TCC-I	TCC2	TC C2P
R3.3.x	X	-	-
R3.4.x	X	-	-
R4.0.x	X	X	X
R4.1.x	-	X	X
R4.5.x	-	X	X
R4.6.x	-	X	X
R4.7.x	-	X	X

R5.0.x	-	X	X
--------	---	---	---

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)